

中央大学附属中学校・高等学校

中学入試

高校入試

住所 東京都小金井市貫井北町3-22-1

電話 042-381-5413

FAX

URL <http://chu-fu.ed.jp/>

帰国生受け入れ開始年度 2019年

2019年度帰国生在籍数 中学1年:6人 高校1年:10人

帰国生のための部署/担当 部署は特にありません。/入試広報副委員長 堀口勝裕 先生

帰国生入試について					
出願資格・条件	<p>中学</p> <p>①2007年4月2日から2008年4月1日の間に出生した者。②国内外の小学校課程を修了、または修了見込みであること。ただし、本校が、小学校卒業と同等以上の学力があると認められた者についてはこの限りではない。③本校の教育方針に賛同し、全ての教育活動に参加できること。④保護者の海外転勤または海外在留により、下記の(ア)、(イ)のいずれかを満たすこと。(ア)2017年4月～2020年3月における海外在学期間の合計が1年6ヶ月以上であること。(イ)上記(ア)における海外在学期間が1年6ヶ月に満たない場合は、2015年4月～2020年3月における海外在学期間の合計が3年以上であること。※志願者本人のみの留学などを在学期間に含めることはできない。⑤入学後、保護者のもとより通学可能な者。</p> <p>高校</p> <p>①2004年4月2日から2005年4月1日の間に出生した者。②国内外の中学校課程を修了、または修了見込みであること。ただし、本校が、中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者についてはこの限りではない。③本校の教育方針に賛同し、全ての教育活動に参加できること。④保護者の海外転勤または海外在留により、下記の(ア)、(イ)のいずれかを満たすこと。(ア)2017年4月～2020年3月における海外在学期間の合計が1年6ヶ月以上であること。(イ)上記(ア)における海外在学期間が1年6ヶ月に満たない場合は、2015年4月～2020年3月における海外在学期間の合計が3年以上であること。※志願者本人のみの留学などを在学期間に含めることはできない。⑤入学後、保護者のもとより通学可能な者。</p>				
出願書類	<p>中学</p> <p>①海外在留期間証明書 本校所定書式をお使いください。入学検定料決済前であっても9月以降随時ダウンロードできます。②成績証明書もしくは通知書の写し (ア)国内在学中の者 帰国日からさかのぼって1年間分の海外で在籍した学校の成績証明書(成績通知表の写しでも可)を提出してください。(イ)海外在学中の者 出願前の1年間分の成績証明書(成績通知表の写しでも可)を提出してください。 ※(ア)(イ)とも、成績証明書は学校長の公印もしくは署名のあるものを提出してください。①②の書類を出願期間中に下記へ送付してください。国内在住の方は簡易書留郵便もしくはレターパック、海外在住の方は国際スピード郵便もしくは国際宅急便でお送りください。封筒サイズは任意です。〒184-8575 東京都小金井市貫井北町3-22-1 中央大学附属中学校入試係 ※封筒に「帰国生入試出願書類在中」「出願資格認定番号〇〇〇」と朱書きしてください。</p> <p>高校</p> <p>①海外在留期間証明書 本校所定書式をお使いください。入学検定料決済前であっても9月以降随時ダウンロードできます。②日本の中学校に相当する3年間分の調査書もしくは成績証明書 (ア)日本人学校もしくは国内中学校に在籍していた場合→帰国生調査書 (イ)現地校もしくはインターナショナルスクールに在籍していたが、受験時は日本人学校もしくは国内中学校に在籍している場合→現地校もしくはインターナショナルスクールの成績証明書および日本人学校もしくは国内中学校の帰国生調査書 (ウ)現地校もしくはインターナショナルスクールに在籍していた場合→成績証明書 ※帰国生調査書は本校指定書式をお使いください。本校HPの受験概要ページから9月以降、書式を印刷できます。中学校により厳封されたものを提出してください。 ※成績証明書は学校長の公印もしくは署名のあるものを提出してください。①②の書類を出願期間中に下記へ送付してください。国内在住の方は簡易書留郵便もしくはレターパック、海外在住の方は国際スピード郵便もしくは国際宅急便でお送りください。封筒サイズは任意です。 〒184-8575 東京都小金井市貫井北町3-22-1 中央大学附属高等学校入試係 ※封筒に「帰国生入試出願書類在中」「出願資格認定番号〇〇〇」と朱書きしてください。</p>				
過去3カ年の応募状況 (中学入試)		出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	2019年	35	35	10	6
帰国生の編入試験について					
出願資格・条件	※編入制度はありません。				
帰国生に対する配慮					
本校には細かい校則がありません。たとえば、高校生は登下校時の服装、髪型についても、すべて各自の判断に任されています。中学生も「自主・自治・自律」の教育理念にもとづき、最低限の約束事しか設けていません。規則で縛ることのない本校の環境は、海外で身につけた多様な価値観や個性を失いたくないという方に、特に喜んでいただけたらと思います。					
帰国生への学習指導					
帰国生だけを対象としたプログラムはありません。全校生徒を対象とした資格英語講座や英会話講座があります。					
入試に向けての事前準備や意識してほしいこと					
国語については、読解力と同時に文章を書く力を問う問題が出ます。漢字の読み書きや日本語の表現など、文章を書く上で必要な力をしっかりと身につけてください。算数・数学については、「基本的な知識の定着」を確認するための基礎問題と、「論理的思考力」および「読解力」が求められるような応用問題を予定しています。基礎問題については、全分野からまんべんなく出題されるものとして準備してください。英語(高校のみ)については、本校の推薦入試の形式にリスニングとエッセイが加わり、全体的に難易度が上がります。エッセイを書くことに慣れておいてください。					
帰国生の卒業後の進路・進学状況について					
多くの生徒が中央大学に進学しますが、他大学へ進学していく生徒もいます。					
留学制度や海外大学進学支援体制について					
<p>高校</p> <p>単位認定留学 1年間の留学期間中に、国外の教育機関で修得した単位を本校で修得した単位とみなし、3年間で卒業することを認める制度です。この制度の利用者に対する、中央大学への特別推薦枠もあります。</p> <p>ターム留学 1月～3月の3ヶ月間、ニュージーランドで英語を学びます。</p>					
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ					
入学後、たとえば英語の特別クラスをもうけるなどの帰国生のみを対象とする教育プログラムはありません。その代わりに、本校では英語ができるかどうかではなく、海外での本物に触れてきたみなさんの経験そのものを尊重しています。本校独自科目であるProject in Englishや教養総合の授業において、その経験を大いに発揮してくれることを期待しています。					